

◇ デジタルインボイス

Q : デジタルインボイスというものがあるようですが、どのようなものですか？

A : 次のようなものです。

【解説】

デジタルインボイスとは、請求書の情報を売り手側のシステムから買い手側のシステムへ人手を介さず直接データ連携できる仕組みのことです。従来の「PDF請求書のメール送付」も電子請求書ではありますが、デジタルインボイスではありません。

紙やPDFの請求書は、印刷や郵送の手間、買い手側での入力作業やミスが避けられないという課題があります。これに対し、デジタルインボイス (Peppol仕様) は請求データがそのまま相手のシステムに取り込まれるため、双方の業務を自動化し、大幅に効率化できます。

導入のステップは3つです。

STEP 1 : 自社の会計ソフトがデジタルインボイスに対応しているか確認し、対応していない場合はソフトの導入が必要です。

STEP 2 : デジタルインボイスを利用するための「Peppol ID」を取得します。これは請求データを送受信するための識別番号です。

STEP 3 : 請求書をやり取りする取引先にも「Peppol ID」の取得を案内し、準備を整えます。

国税庁はすでに導入済み企業の事例を公開し、普及を後押ししています。

デジタルインボイスは、請求業務の負担軽減だけでなく、インボイス制度との相性もよいため、今後中小企業でも導入が広がると見込まれます。

